

「研究助成金」受領者16人

「矢崎学術賞」受賞者は2人

矢崎科学技術振興記念財団（東京都港区、細川興一理事長）は三月四日、令和2年度の「研究助成金」受領者二人および「矢崎学術賞」受賞者二人を決定した。

矢崎科学技術振興記念財団

同財団は、一九八三「情報」の各分野を対象領域とし、年以來、科学技術の発展を目的として「研究助成」「研究助成」奨励事業を実施。今年度も、独創的かつその成果が科学技術の発展に大きく貢献すると考えられる研究を対象として選考した。

同財団の研究助成は、「新材料」「エネルギー」助成、さらに過去に財団から研究助成を受けた研究者の中から優れた業績をあげた研究者に授与する「矢崎学術賞」がある。

多元物質科学研究所教授「有機電極材料を利用した高エネルギー密度・レアメタルフリー型リチウムイオン電池の開発」

なお、同財団が特定したテーマは次の通り。

1. 「高齢者・身障者への質の高い支援技術に関する研究」
2. 「革新的なモビリティ社会の創出を支える基盤技術に関する研究」

【国際交流援助】
▽新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国際学会が中止となり、オンライン開催のため該当者なし

【研究助成の種類、受領者、テーマの順】
一般研究助成二〇〇万円（応募七九件）
▽所裕子・筑波大学数理物質系教授「高性能蓄熱酸化チタンの開発」はじめ五件
奨励研究助成一〇〇万円（原則三五歳以下の若手研究者が対象）（応募四八件）
▽鈴木弘朗・岡山大学自然科学研究科助教「半導体原子層物質のプラズマを用いた低温・高速合成」はじめ一〇件

【特定研究助成】一千万円（同財団が特定したテーマにふさわしい研究が対象）（応募九件）
▽本間格・東北大学

▽功績賞（田中雅明・東京大学大学院工学系研究科教授）奨励賞（若手研究者を対象）三輪真嗣・東京大学物性研究所量子物質研究G准教授
なお、研究助成金贈呈式は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、中止となった。

【矢崎科学技術振興記念財団概要】
▽所在地（〒105-0001東京都港区虎ノ門二丁目一三番地三号虎ノ門東洋共同ビル）
▽電話（03-5501-9833）
▽設立（一九八二年二月二十五日（矢崎繪業の創業四〇周年を記念して設立））
▽目的（科学技術

にかかると研究開発の助成と振興を図り、公益基本財産（九億三四一〇万円）を主務官庁（内閣府）に預託し、関係機関（URL）
<https://www.yazaki-fund.jp/>